

鎧の飾り方

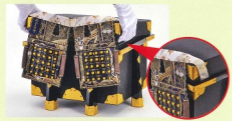
各部の名称

注) 龍頭の付かないタイプもあります。



1 佩楯を飾る

鎧楯を置き、佩楯(はいたて)の中心を楯の中心に合わせ、佩楯の帯の両端を下の写真のように楯の蓋(ふた)の間に挟み込み、しっかり蓋をしてください。



2

胴を飾る

左の写真のように芯木を通した胴を蓋の中央よりやや手前に置きます。



3 面頬を置く

下の写真のように芯木の上部の溝に面頬の紐を掛けます。兜の眉庇(帽子の底にあたる部分)と面頬上部が重なるくらいが美しくみえます。眉庇と面頬の間にすき間があかないよう注意してください。



4 面頬の調節

面頬の位置を直すには下の写真のように、片手で結び目を押さえ、もう一方の手で右のイラストのように矢印の方向に軽く引くと簡単に調節できます。



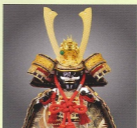
◀紐を短くする場合

紐を長くする場合▶

5

兜を飾る

(兜の飾り方の写真③④を参照してください。)
兜を芯木の上に置き、前後左右の傾きを調整してください。
*忍緒はほどかないように注意してください。



6 腰当と毛沓を置く

腰当を毛沓に差込、楯の前に掲げて並べます。最後にもう一度、少しはなれたところから全体を見て形を整えてください。



奉納鎧

